

第31回山梨医学フォーラム

日時：令和8年7月8日（水）18：00～19：30

会場：山梨大学医学部 臨床大講堂
山梨県中央市下河東1110 TEL:055-273-1111

座長 山梨大学医師会長・泌尿器科学教授
三井 貴彦

慶應義塾大学病院で進める 医療DXの現状と今後

演者 慶應義塾大学 放射線科学（診断）教授

陣崎 雅弘



◆日本医師会生涯教育講座認定：10：チーム医療（1.5単位）の対象となります
共催：山梨大学医学部 山梨大学医師会 山梨大学医学会
後援：山梨医学会 山梨県医師会生涯教育委員会

【抄録】

DXはデジタルを活用した組織変革のことである。
近年、デジタルやAI技術は進化を続け、2016年の深層学習、2022年の生成AIを経て、近年はAIエージェントの時代に入った。当院では2018年からAIホスピタルプロジェクトを推進してきた。一般的には、専門性の高い高度なタスクを対象にした課題に取り組みがちであるが、我々は、まずは基盤作りとしてITを活用したデジタル化に注力した。また、医師・コメディカル・事務系が一体となった系統的な組織マネジメントの仕組みも作った。これまでは従来のワークフローにITやAIを組み込むことを主に行ってきたが、これからはデジタルにマッチングするワークフローを院内で再構築していく必要があると考えている。

【略歴】

- 1987年 慶應義塾大学医学部卒業
- 1999年 Harvard 大学附属Brigham and Women's Hospital留学
- 2006年 慶應義塾大学医学部放射線科学講師
- 2009年 同准教授
- 2014年 慶應義塾大学医学部放射線科学教授
- 2017年 慶應義塾大学病院副院長
(医療DX、予防医療担当)
- 2018年 内閣府の創造的イノベーションプログラム
「AIホスピタルプロジェクト」担当
- 2025年 厚生労働省 医政局研究開発政策課 参与 兼務

専 門： 画像診断（循環器、腹部領域）
機器開発（全身型立位CT、超音波CTなど）
医療DX

役 職： 日本メディカルAI学会 顧問、
JRC（日本ラジオロジー協会）理事長
日本画像医学会 理事長、日本腹部放射線学会 理事長
日本医学放射線学会 副理事長、日本医用画像工学会
副理事長